

ミカン狩りとスイーツづくりでミカンの知識と地域を知る

段上自治会

事業費 98,256 円

助成額 70,000 円

●当初の課題・事業目的

人口増加の割に自治会への加入が増えないのが現状。特に「若い層に期待される魅力ある自治会」を模索すべく、自治会員や未加入の方の声を取り入れながら地域性のある新事業として、自治会内にあるミカン畑を活用して収穫の喜びや多世代交流を図り、新自治会員の加入と自治会力のアップを目指します。



会長 安井 進治

●事業概要

地域のミカン畑を活用し、ミカン狩りとスイーツづくりを開催。自治会員に行事案内を各戸配布し公園など自治会内の掲示板にラミネートした案内を掲示し、参加者を募りました。

スイーツづくりでは、栄養士の金谷滋子先生に松山果樹園のミカンを使ったミカンづくしのメニューの開発と講師を依頼し、当日は多世代で4種の料理のポイントの説明を受けた後調理実習を行いました。

また、ミカン狩りでは、ミカン果樹園の松山氏からミカン狩りのハサミの使い方やミカンを美味しく味わう方法など説明を受け、事前に用意された100%ミカンジュースの試飲。ミカン畑の途中にある畑の季節の野菜や果物を観察しながら移動。おなか一杯ミカンを食べたり慣れない手つきでミカンを収穫して多世代交流と地域住民の交流をはかりました。



●事業の成果・工夫した点

スイーツづくりもミカン狩りも、祖父母から孫まで参加があり、参加者同士の交流が図れました。ミカン狩りに参加した中から2人、自治会加入がありました。また、ミカン狩りに偶然通りかかった『西宮流』の記者から「どこの団体？」など尋ねられ、次の日に情報サイトに紹介されていました。

●苦労した点・今後の課題

スイーツづくりの会場である段上公民館の実習室の改修工事の為、実施予定日より20日も早く開催せざるをえませんでした。また、ミカンの生育の関係で松山氏よりミカン狩りを予定より15日早く開催になり、1日で終わる予定が急きょ2日開催になりました。その為少ないスタッフ（=役員）が担うことになりました。

●参加者のコメント

【スイーツづくり】同じような材料で分量を間違えた。友人を誘ったが子供と参加したいが親が土日が仕事の為参加が難しいと言われた。メールや電話でも申込みの受付をしてほしい。作ったり食べたりコミュニケーションができた。地域の繋がりが深まった。

【ミカン狩り】美味しいジュースにびっくり。ミカンが成っているのは知っていたが初めての体験。毎年開催して欲しい。ミカンが甘かった。ミカンの剥き方を知りました。初めてミカン狩りをして楽しかった（スウェーデン人）地域の皆さんと触れ合えてうれしかった。年齢制限があり下の子を連れてこれなかったのが残念。